

製品名: AQP2 (リン酸化 Ser256) ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab04249**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	IHC, ICC/IF, ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	リン酸化
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率 IHC 1:100-1:300, ICC/IF 1:50-1:200, ELISA 1:20000-1:40000

分子量

抗原情報

遺伝子名	AQP2
別名	AQP2; Aquaporin-2; AQP-2; ADH water channel; Aquaporin-CD; AQP-CD; Collecting duct water channel protein; WCH-CD; Water channel protein for renal collecting duct
遺伝子 ID	359.0
SwissProt ID	P41181
免疫原	抗血清は、ヒトアクアポリン 2 の Ser256 のリン酸化部位周辺の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 222-271

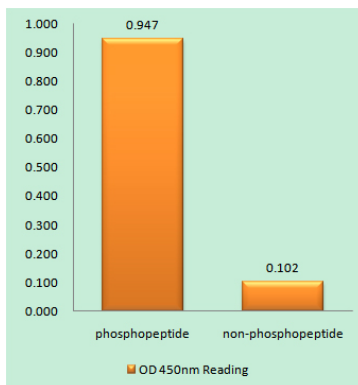
背景

この遺伝子は、腎臓集合管に存在する水チャネルタンパク質をコードする。MIP/アクアポリンファミリーに属し、その一部は染色体12q13にクラスターを形成している。この遺伝子の変異は、常染色体優性および劣性遺伝の腎性尿崩症と関連付けられている。[RefSeq 提供、2008年10月]、疾患：AQP2の欠陥は、常染色体優性腎性尿崩症（ANDI）[MIM:125800]の原因である。この疾患は、腎性尿崩症2型としても知られる。ANDIは、腎集合管がアルギニンバソプレシンに反応して水分を吸収できないことによって引き起こされる。過度の飲水（多飲）、過度の尿排泄（多尿）、持続性の低張尿、および低カリウム血症を特徴とする。遺伝は常染色体優性または劣性である。ドメイン：アクアポリンは、それぞれ3つの膜貫通ドメインと、Asn-Pro-Ala（NPA）を特徴とする孔形成ループを含む2つのタンデムリピート構造を有する。機能：腎集合管の細胞膜に高い水透過性を与える水特異的チャネルを形成し、浸透圧勾配の方向への水の移動を可能にする。オンライン情報：AQP2のページ,PTM：頂端膜への発現にはSer-256リン酸化が必要かつ十分である。エンドサイトーシスはリン酸化に依存しない。類似性：MIP/アクアポリン（TC 1.A.8）ファミリーに属する。細胞内局在：小胞から頂端膜へ輸送される。組織特異性：腎集合管で発現する。

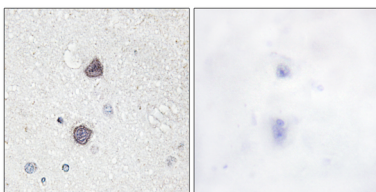
研究分野

細胞生物学

画像データ



アクアポリン2（リン酸化Ser256）抗体を用いたリン酸化ペプチド（リン酸化左）および非リン酸化ペプチド（リン酸化右）免疫原の酵素結合免疫吸着測定法（リン酸化ELISA）



アクアポリン2（リン酸化Ser256）抗体を用いたパラフィン包埋ヒト脳の免疫組織化学染色。右の写真はリン酸化ペプチドでブロッキングした状態。